

5月26日（月）上富田町集会・2025年原水爆禁止国民平和大道進

日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



奥田町長のメッセージ読み上げ 松井上富田議長 茂野実行委員長
十河貴子総務課長



5月26日（月）上富田町での集会は、庁舎前広場で開催されます。集会前、上富田原水協事務局長の檜山功さんが今年の世界大会への代表派遣の呼びかけがあります。集会の進行は地元の田中さんです。まず、県平和行進実行委員長・茂野和廣氏より「核兵器は世界にまだ12000発存在しています。そして核兵器が使われたら人類に壊滅的被害が生じます。この中で、警報に反応して2100発が発射できます。そういう危険なヒロシマ、ナガサキを再び繰り返してはなりません。しかし、国際情勢は厳しいものがあります。イスラエルのガザでの虐殺、ロシアのウクライナ侵略、本当に許しがたく、容認できません。加えて核兵器保有国のインド、パキスタンの紛争です。核使用の危険が高くなっています。」との挨拶です。続いて、奥田誠上富田町長のメッセージです。「平和は、私たち一人ひとりの願いであり、核兵器のない世界は、世界人類のさらなる願いでもあるのに対して、はかなくも核はまだ持ち続けられています。」と十河貴子町総務課長が代読しました。町役場の職員も4～5人か参加しています。次に、町議会より松井孝患上富田議会議員が「ロシアによるウクライナ侵略、いっこうに終結する気配がありません。戦争して、ロシアがウクライナに負ける事はありません。核兵器を持っているからです。戦争が終わるとすればロシアの要求を100%ウクライナが聞き入れた時です。」との挨拶をしました。次いで、わかやま市民生協の濱日真莉さんが決意表明します。最後、新日本婦人の会地元支部の森田さんが集会アピールを読み上げました。集会終了後、平和行進に移ります。町庁舎を左に出て、県道36号線に入り、再び上富田町役場に戻ってきました。本日は、白浜町です。

平和行進実行委員会事務局